

令和6年能登半島地震及び令和6年9月能登半島大雨災害により、被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復興をお祈り申し上げます。

# 2025年2月期第2四半期の 営業状況について

このプレゼンテーション資料には将来の見通しが含まれています。これらの見通しや意見は、社内資料やその他の信頼するに足りると思われる資料をもとに作成していますが、将来の業績を保証するものではありません。よって、実際の売上高や利益等は、ここに記載されている内容と異なる場合があることをご承知おきください。

久光製薬株式会社  
2024年10月10日



# 要 旨

1. 2025年2月期の進捗について
2. 連結損益
3. 地域別売上高
4. 商品別売上高
5. 研究開発パイプライン



# 1. 2025年2月期の進捗について

単位：百万円

連結損益	第2四半期	通期	
	実績	業績予想	進捗率
売上高	75,456	152,000	49.6%
営業利益	9,006	14,500	62.1%
経常利益	10,788	18,900	57.1%
親会社株主に帰属する純利益	9,098	15,800	57.6%

※通期連結業績予想の変更はありません。

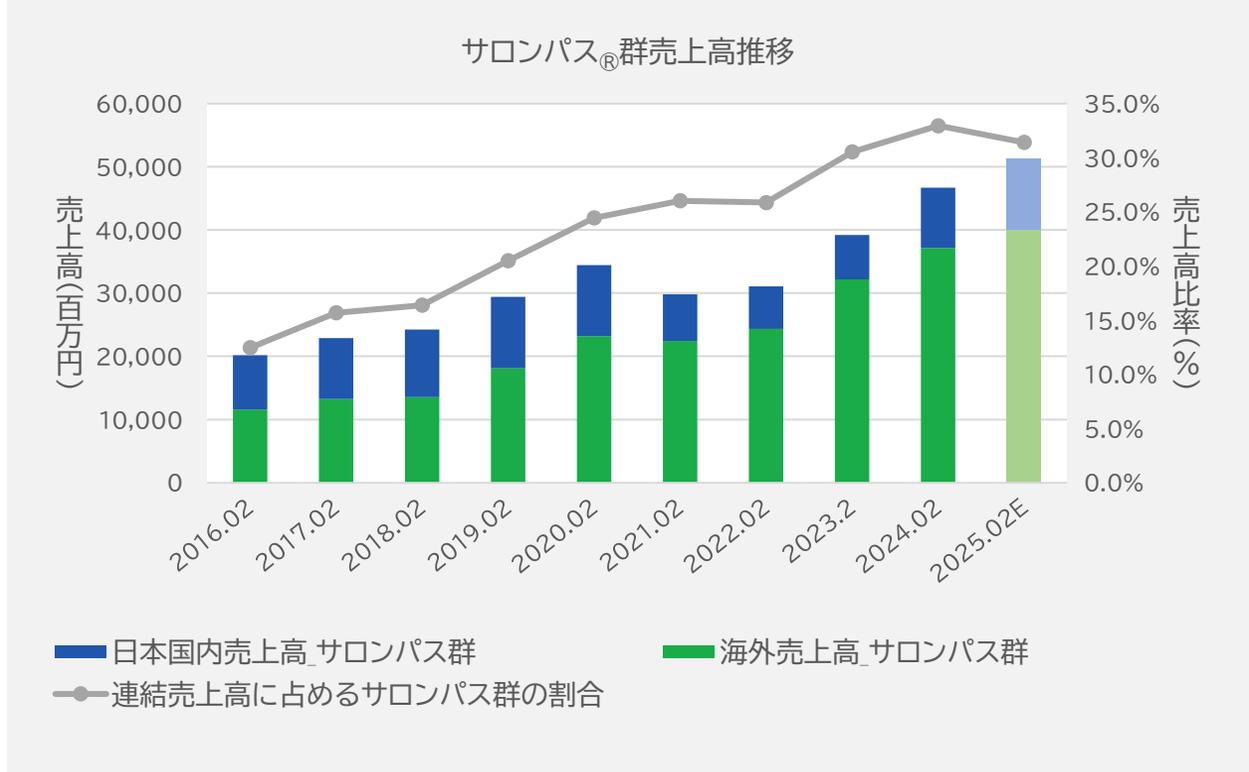


# 1. 2025年2月期の進捗について | サロンパス®発売90周年

- 90周年を迎えたサロンパス®のさらなる成長
- 「Salonpas®」8年連続販売シェア世界No.1ブランド※
- 世界30カ国以上の国と地域で発売し、さらにグローバルへ展開



## 売上成長の加速



## さらにグローバルへ展開

- ### 展開エリア
- ・アジア
  - ・北アメリカ
  - ・南アメリカ
  - ・ヨーロッパ
  - ・アフリカ



新規展開国: ナイジェリア

※ユーロモニター社が実施している外用鎮痛消炎剤の世界市場調査に基づく

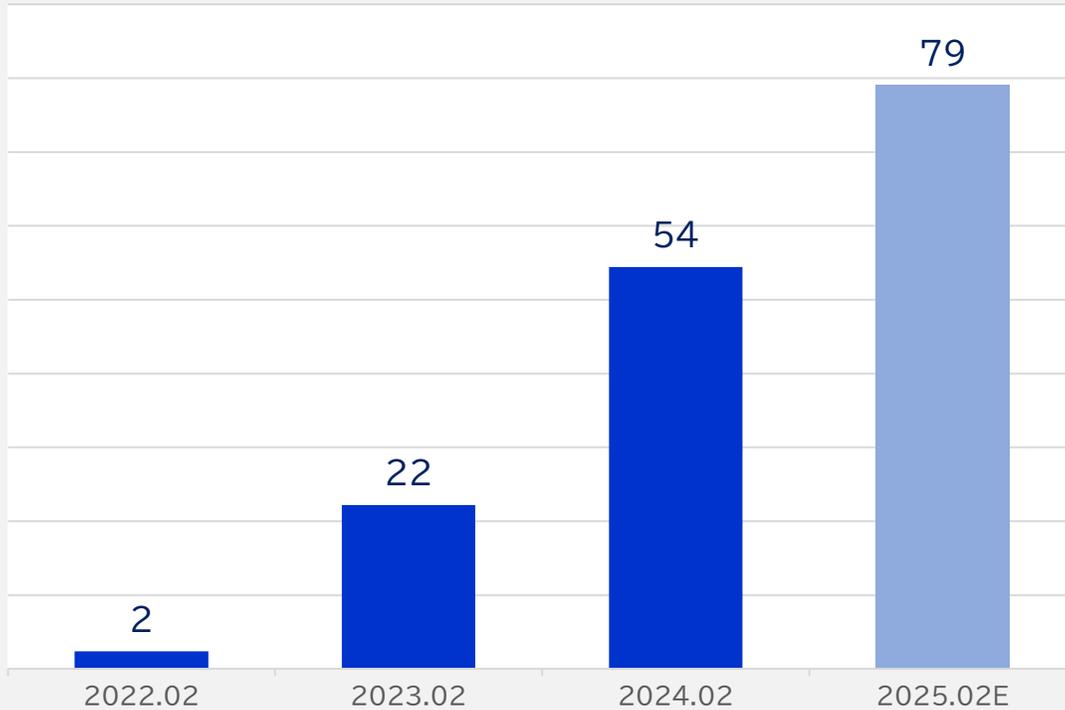


# 1. 2025年2月期の進捗について | ジクトル<sup>®</sup>テープ

- 早期に売上100億円超を目指す
- 日本→米国→その他地域へ展開を進める

## ジクトル<sup>®</sup>テープ売上推移

単位:億円



## HP-3150US 第Ⅲ相臨床試験開始予定

2025年1月 : 臨床薬理試験開始

2026年度中 : 第Ⅲ相臨床試験開始予定

\*HP-5000のデータを一部活用

グローバル  
展開へ

2025年米国  
臨床薬理試験開始

2022年効能追加  
(慢性疼痛)

2021年日本発売  
(がん性疼痛)



# 1. 2025年2月期の進捗について | オープンイノベーション

## オープンイノベーションのさらなる推進

多様な視点やアイデアを取り入れ研究開発力のさらなる強化を図る

### SAGAグローバルリサーチセンター 特長

- ・共同実験スペース、コラボレーションオフィス等、協業環境の提供
- ・TDDS製剤開発に特有の装置の提供
- ・TDDS製剤開発に必要な機能が集約、スピーディーな製剤開発が可能

### 募集する共同研究テーマ(Wish List)

#### TDDS(経皮薬物送達システム)関連技術

- ・募集製剤技術1: 経皮吸収性を向上させる技術・デバイス
- ・募集製剤技術2: 皮膚刺激を低減する技術

#### 皮膚生理関連研究

- ・募集研究テーマ: 皮膚生理学に関する研究

#### TDDS関連医薬候補

- ・募集医薬候補: 経皮製剤化が望ましい既存医薬品あるいは新規医薬品



SAGA グローバルリサーチセンター



SAGA グローバルリサーチセンター  
オープンイノベーションを目的とした  
協業パートナー募集のお知らせ  
URL:  
<https://www.hisamitsu.co.jp/company/sgrc-oi.html>





## SAGA2024国民スポーツ大会 優勝 国民スポーツ大会(成年女子バレーボール)として初代女王



かごしま国体  
(2023年 鹿児島県)  
に続き2年連続の優勝

若楠国体  
(1976年 佐賀県)  
から数えて10回目の優勝



## 2. 連結損益 | 対前期実績

単位:百万円

	2024年2月 第2四半期実績	2025年2月 第2四半期実績	増減額	増減率
売上高	66,977	75,456	+8,478	+12.7%
売上原価	28,330	31,047	+2,716	+9.6%
原価率	42.3%	41.1%		
販管費	30,250	35,402	+5,151	+17.0%
販売促進費	5,761	7,026	+1,264	+22.0%
広告費	6,823	8,005	+1,181	+17.3%
研究費	4,140	5,106	+966	+23.3%
その他	13,524	15,264	+1,739	+12.9%
営業利益	8,396	9,006	+610	+7.3%
経常利益	11,640	10,788	-852	-7.3%
親会社株主に帰属 する純利益	8,417	9,098	+680	+8.1%
為替レート(¥/USD)	136.54	154.06		

### 2025年2月期第2四半期決算概要

#### 4期連続の増収増益

##### ■売上高(+8,478)

- ・サロンパス®を中心に海外売上高増加
- ・ジクトル®テープ売上高増加、新商品売上高の寄与

##### ■売上原価(+2,716)、原価率(-1.2ポイント)

- ・返品削減の取り組み、円安の影響

##### ■販管費(+5,151)

- ・販売促進費:ノーベン社(米国)におけるXELSTRYM®販促費用
- ・広告費:ブランド価値向上のための積極投資
- ・研究費:初期フェーズパイプライン関連費用、SAGAグローバルリサーチセンター減価償却費
- ・その他:物流費、減価償却費、人件費(賃上げ)

##### ■経常利益(-852)

【当期】為替差損 【前期】為替差益

※丸東産業 9/30公表

ランサムウェア被害の発生について  
当第2四半期決算への影響はありません

##### ■親会社株主に帰属する純利益(+680)

投資有価証券売却益





# 3. 地域別売上高 | 対前期実績

単位:百万円

		2024年2月期 第2四半期実績	2025年2月期 第2四半期実績	増減額	増減率
<b>売上高</b>		<b>66,977</b>	<b>75,456</b>	<b>+8,478</b>	<b>+12.7%</b>
医療用医薬品	日本	26,801	26,463	-338	-1.3%
	海外	8,239	10,323	+2,084	+25.3%
	米国	5,522	7,471	+1,948	+35.3%
	その他地域	2,716	2,852	+135	+5.0%
一般用医薬品 ・ その他	日本	10,180	13,369	+3,189	+31.3%
	海外	20,180	23,667	+3,486	+17.3%
	米国	9,428	11,328	+1,899	+20.1%
	その他地域	10,752	12,338	+1,586	+14.8%
その他事業	日本	1,574	1,631	+56	+3.6%
海外売上比率		42.4%	45.0%		

## 地域別売上高の状況

- 売上高(+8,478)
  - <医療用医薬品 日本(-338)>
    - ・ジクトル<sup>®</sup>テープの売上増加
    - ・薬価改定、後発品影響
  - <医療用医薬品 海外(+2,084)>
    - ・女性ホルモン製剤の売上増加
  - <一般用医薬品 日本(+3,189)>
    - ・サロンパス<sup>®</sup>の売上増加
    - ・エスカップ<sup>®</sup>売上(2023年10月エスエス製薬より譲受)
  - <一般用医薬品 海外(+3,486)>
    - ・サロンパス<sup>®</sup>の売上増加
- 海外売上高比率 45.0%(+2.6%)**



# 4. 商品別売上高 | 医療用医薬品/対前期実績

単位:百万円

	2025年2月期 第2四半期実績			2025年2月期第2四半期の 対前年増減額			2025年2月期第2四半期の 対前年増減率		
	連結	日本	海外	連結	日本	海外	連結	日本	海外
医療用医薬品計	36,786	26,463	10,323	+1,746	-338	+2,084	+5.0%	-1.3%	+25.3%
モーラス <sup>®</sup> テープ群	11,022	10,623	399	-1,098	-1,102	+3	-9.1%	-9.4%	+0.9%
ジクトル <sup>®</sup> テープ	3,897	3,897	-	+1,600	+1,600	-	+69.7%	+69.7%	-
ハルロピ <sup>®</sup> テープ	2,005	2,005	-	+67	+67	-	+3.5%	+3.5%	-
モーラス <sup>®</sup> パップ群	1,611	1,611	-	-197	-197	-	-10.9%	-10.9%	-
フェントス <sup>®</sup> テープ	1,499	1,499	-	-313	-313	-	-17.3%	-17.3%	-
アポハイド <sup>®</sup> ローション	788	788	-	+158	+158	-	+25.1%	+25.1%	-
エストラーナ <sup>®</sup> テープ	945	945	-	-39	-39	-	-4.0%	-4.0%	-
その他	4,759	4,550	208	-490	-257	-232	-9.3%	-5.4%	-52.8%
COMBIPATCH <sup>®</sup> 群	3,752	542	3,209	+403	-253	+656	+12.0%	-31.9%	+25.7%
VIVELLE-DOT <sup>®</sup> 群	3,819	-	3,819	+831	-	+831	+27.8%	-	+27.8%
MINIVELLE <sup>®</sup> 群	1,458	-	1,458	+193	-	+193	+15.3%	-	+15.3%
XELSTRYM <sup>®</sup>	133	-	133	+133	-	+133	-	-	-
SECUADO <sup>®</sup>	507	-	507	+198	-	+198	+64.5%	-	+64.5%
DAYTRANA <sup>®</sup> 群	583	-	583	+293	-	+293	+101.3%	-	+101.3%

## <日本>

ジクトル <sup>®</sup> テープ	↑	全身性経皮吸収型製剤の認知拡大
アポハイド <sup>®</sup> ローション	↑	2024年6月処方日数制限解除
モーラス <sup>®</sup> テープ群	↓	薬価改定、後発品影響

## <海外>

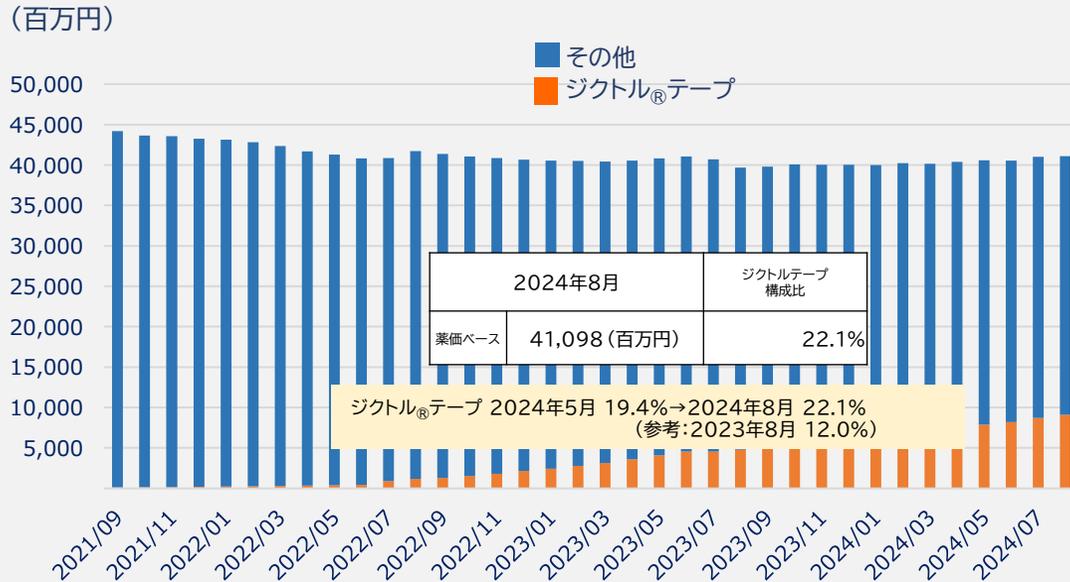
COMBIPATCH <sup>®</sup> 群 VIVELLE-DOT <sup>®</sup> 群	↑	女性ホルモン製剤需要の拡大
XELSTRYM <sup>®</sup> SECUADO <sup>®</sup>	↑	米国営業体制強化
DAYTRANA <sup>®</sup> 群	↑	AG製剤の売上増加



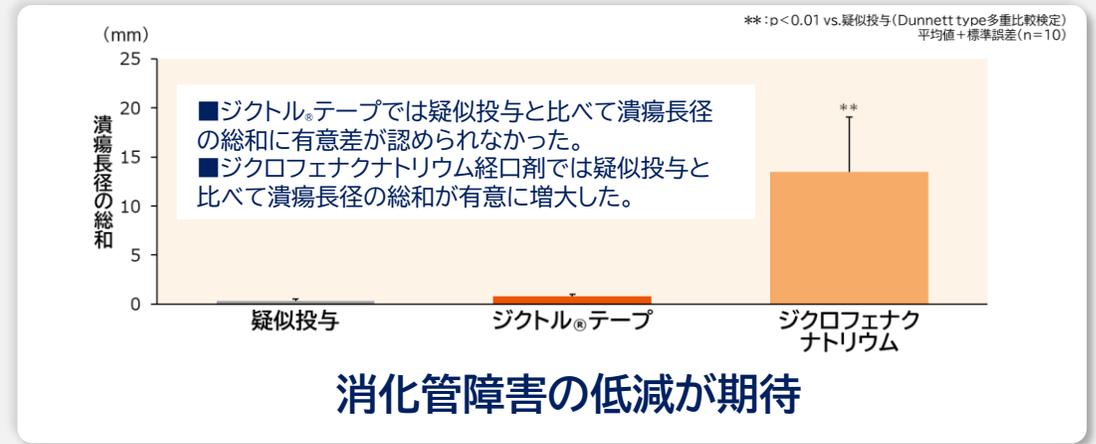
### 販売状況

- ・ 2025年2月期第2四半期 売上高 3,897百万円(対前期+69.7%)
- ・ 2024年8月市場シェア 22.1%(対前期+10.1%(移動年計))
- ・ 「全身性経皮吸収型製剤」の特長を学会、講演会等を通じ情報提供

### 市場動向/金額ベース(非ステロイド性抗炎症剤、抗リウマチ剤※)



### 非臨床試験 胃粘膜障害作用(ラット)(参考情報)



試験方法: 絶食下の5週齢のSD系雄性ラットに本剤を背部に24時間単回経皮投与及びジクロフェナクナトリウムを8時間ごと3回経口投与し、投与開始後24時間に胃を摘出、肉眼的に胃粘膜を観察し、発生した潰瘍の長径(mm)を個体ごとに合計し評価した。  
なお、ストレス条件を均一化するため、全ての個体に経皮投与の保定操作を行い、疑似投与群及び本剤投与群には注射用水(経口投与媒体)を8時間ごと3回経口投与した。また、本試験のジクロフェナクナトリウムの経口投与量はAUC<sub>0-24</sub>が本剤と等しくなるように設定した。



## 原発性手掌多汗症

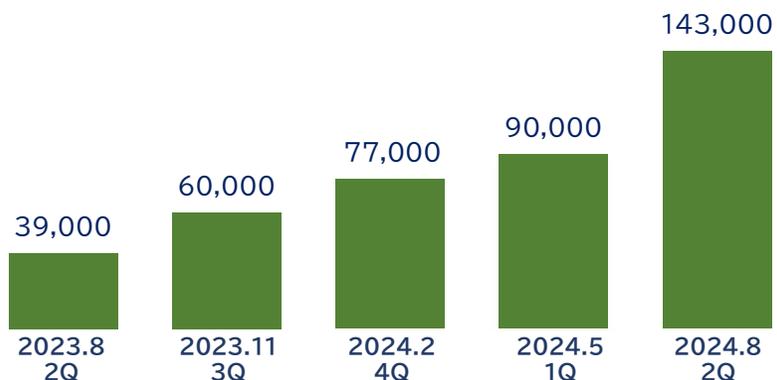
- ・ 手掌から両側性に過剰な発汗を認める疾患。社交活動(握手など)やペーパーワーク、電子機器の操作等に多大なる支障をきたすため、学校生活や社会生活上の様々な場面で生活の質や労働能率を低下させる大きな要因となることが知られている※1
- ・ 推定患者数(日本)：約493万人※2

## 販売状況

- ・ 2025年2月期第2四半期 売上高：788百万円  
\* 2023年6月発売
- ・ 2024年8月までに累積約14万人に投与
- ・ 2024年6月 処方日数制限解除
- ・ 学会、講演会等を通じての情報提供
- ・ 疾患啓発活動の継続 \*2024年6月、9月、10月 CM放映実施

推定累積治療患者数※3

(単位:人)



CM URL : <https://youtu.be/ntzTrsvela4>



※1 日本皮膚科学会ガイドライン:原発性局所多汗症診療ガイドライン 2023 年改訂版

※2 Fujimoto T, et al.: J Dermatol 2013; 40(11): 886-90

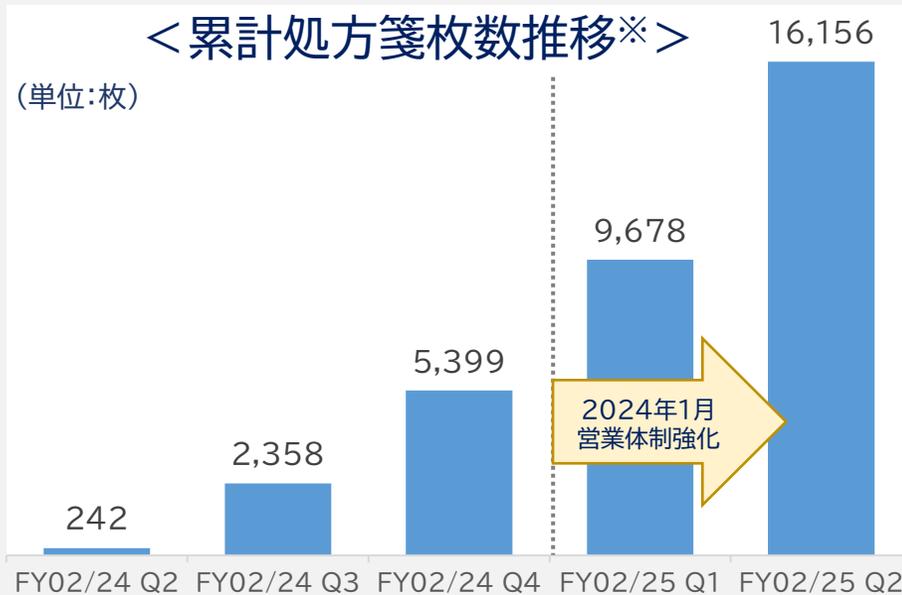
※3 IQVIA Rx(2023/06-2024/08)より自社集計 Copyright © 2024 IQVIA. 無断転載禁止



## 販売状況 \*米国ADHD市場規模:約100億ドル

- ・ 2025年2月期第2四半期 売上高 133百万円 \*2023年6月発売
- ・ 2024年1月より営業体制強化、処方箋枚数増加
- ・ Co-Payカード使用の適正化(2024年7月~)

## 処方箋動向



### <貼付剤の強み>

- ・ 医師の指導の下、症状に合わせて貼付時間を調整できる
- ・ 経口投与が困難な患者(成人・小児)にも投薬しやすい
- ・ 服薬状況を家族および介護者が目視で確認可能

上記特長を学会等を通じて情報提供、認知度向上を図る

※Source: This information is an estimate derived from the use of information under license from the following IQVIA information service: NPA, Total Patient Tracker™ for the period from 2023 to 2024. IQVIA expressly reserves all rights, including rights of copying, distribution and republication.



# 4. 商品別売上高 | 一般用医薬品・その他/対前期実績

単位:百万円

	2025年2月期 第2四半期実績			2025年2月期第2四半期の 対前年増減額			2025年2月期第2四半期の 対前年増減率		
	連結	日本	海外	連結	日本	海外	連結	日本	海外
一般用医薬品・その他 計	37,037	13,369	23,667	+6,675	+3,189	+3,486	+22.0%	+31.3%	+17.3%
サロンパス®群	25,799	5,282	20,517	+3,678	+361	+3,317	+16.6%	+7.3%	+19.3%
フェイタス®群	2,187	2,105	81	+75	+24	+50	+3.6%	+1.2%	+162.9%
バイバイフィーバー®	1,935	44	1,890	+74	-164	+239	+4.0%	-78.6%	+14.5%
エスカップ®群	1,921	1,921	-	+1,921	+1,921	-	-	-	-
アレグラ®FX	591	591	-	-36	-36	-	-5.8%	-5.8%	-
サロンシップ®群	1,466	814	651	+85	+4	+81	+6.2%	+0.6%	+14.2%
エアー®サロンパス®群	901	477	423	-131	-21	-110	-12.7%	-4.2%	-20.6%
ブテナロック®群	709	708	0	-31	-27	-3	-4.2%	-3.7%	-86.3%
その他*	1,525	1,424	101	+1,038	+1,127	-88	+213.4%	+379.7%	-46.6%

\*会計基準による返金負債計上額を含む

<日本>			<海外>		
サロンパス®群	↑	積極的販促活動 流通在庫の適正化※	サロンパス®群	↑	積極的販促活動
エスカップ®群	↑	2023年10月、エスエス製薬より譲受			

※環境負荷軽減とコスト削減を目的に小売店、卸と返品削減を推進しています。



# 海外一般用医薬品・その他 2025年2月期 新商品

発売月	カテゴリー	地域	アイテム数
2024年3月 ～ 2024年8月	一般用医薬品	アジア	1
		アフリカ	3
	その他*	アジア	1
	一般用医薬品計		4
	その他* 計		1
	合計		5

\*その他:医療機器・医薬部外品 等





# 5. 研究開発パイプライン

	ステージ	テーマ名	対象	剤形	対象疾患名	次のステップ
1	承認	HARUROPI <sup>®</sup> PATCH (ハルロピ <sup>®</sup> テープ)	亜	貼付剤	パーキンソン病	2025年度 発売予定
2	<del>フェーズ3</del>	<del>HP-5000</del>	米	貼付剤	変形性膝関節症	検討中
	フェーズ3準備中	HP-3150US	米	貼付剤	慢性腰痛症	2026年度 フェーズ3開始予定
3	フェーズ2	HP-6050	日	マイクロ ニードル	せん妄、精神運動興奮状態、 易怒性	2025年度 後期フェーズ2 開始予定

※黄色箇所：2024年7月11日の説明スライドからの変更箇所

さあ！全力発揮。気になるそこに、手当てのチカラを。



Hisamitsu®

TEAM JAPANオフィシャルパートナー  
(外用鎮痛消炎剤、筋肉疲労ケア製品、医療用サポーター)



雑貨品



化粧品



化粧品



第3類医薬品



第3類医薬品



第2類医薬品



第3類医薬品



雑貨品



医療機器

久光製薬はTEAM JAPANを応援します。

詳しい情報は  
こちらへ

